



# こくろうよなご

第18号

2024年5月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



2年連続受賞のプラカード

## 地域の仲間と繋がろう！

### ミーデー集会 各地で盛会に！

今年も各地でミーデーが開催されました。米子地方本部内の各地域でも、これまで培ってきた共闘の皆さんと創意工夫した催しが行われてきました。

### 2年連続の受賞！

米子連合分会は、4月27日に開催された「連合鳥取県西部地協」開催のミーデー集会に、一般枠で参加してきました。

地域で働く仲間1000人が集まり、米子駅前だんだん広場より、「デモ行進」にて集会が開催されました。

多くの来賓があり、湯原衆議院議員からは、「働く者の立場に立った政治勢力の結集」が訴えられました。

子ども食堂・福祉団体・施設などへ寄付をする「フードドライブ」へは、お米やインスタント食品など、今回も多くての協力を頂きました。



鳥取地区分会では、高教組・ユニオン等とともに、実行委員会形式でのミーデーを開催しました。組合活動への弾圧と闘う「関西生コン事件」のDVDを視聴、北村分会書記長より「駅の無人化・みどりの窓口廃止・列車の減便など進められていく。職場を守る闘いと連帯し取り組む」、

た。また、恒例の「プラカードコンテスト」には、細田地本執行委員が投稿した作品が、2年連続となる「最優秀賞」を獲得しました。地域の仲間との連帯を感じるミーデーとなりました。

### 校長交渉取り組む！

高教組からは「学科の再編が進められている。学習会などと合わせて、校長交渉を取り組んでいく」など、闘争報告があり、山田支部委員長の「団結頑張り」で閉会してきました。

### 軍事費に血税回すな

5月1日、石見労協ミーデーが開催されました。佐々木代表に続いて、来賓として国労議員団の小川氏・植田氏など議員の皆さんから「地方の人口減少と

## 島根を変える 日本が変わる

4月28日、衆議院補欠選挙が投票され、今回選挙が実施された東京15区・長崎3区・そして、島根1区全てで立憲民主党の公認候補が当選となりました。

米子地方本部が推薦した島根1区の亀井亜紀子候補の「開票を見守る会」では、投票箱が閉じられた午後8時に亀井候補を含む3名の立憲民主党公認候補の当選が報じられ、会場は喚起に包まれました。「島根を変える・

賃金格差の解消に向け、国への働きかけが必要、軍事費に回すお金などない」「島根1区選挙結果は、自民党政治はもううんざりという怒りの声であり、政治を変えていこう」などと、挨拶を受けました。



4月12日、奥出雲長町を訪問し、木次線の利用促進の取組みや課題などについて意見交換を行いました。5つの委託駅があり、POSによる切符の発券を行っていますが、木次駅のみどりの窓口が閉鎖されたことで、指定席などの取り扱いが出来なくなると言われていました。みどりの窓口の閉鎖が様々な所に表れていることを改めて感じました。また、梅雨時期は大雨で、夏はレール温度の上昇で、冬は大雪による輸送障害の頻度が高く、通学への支障にもなっていると言われている。こうした話を聞きながら、やはり木次線は生活路線であり、輸送障害の要因も課題だと感じました。トロッコ列車の運転が取りやめとなり、現在、天地が乗り入れとなり、利用促進に苦心をされているというお話もありました。

### 路線維持に苦心・自治体の熱意に敬意を！

路線維持に汗をかき、自治体の熱意をじかに感じながら岐路に踏み込みました。

日本を変える」をスローガンに闘った選挙戦、保守王国と言われるこの島根で自民党の牙城を切り崩した意味は、小さくはありません。今回の選挙戦、長く続く自民党一強政治に對して、国民民主党・社民党・共産党の野党が様々な形で協力し、自民党との一騎打ちに持ち込むことが出来たことも勝利の大きな要因ではなかったかと思えます。

金疑惑に見られる利権政治が闊歩する一方で、厳しくなるばかりの生活者・勤労者の暮らしへのかつてない怒りと憤りの高まりにあると思えます。当選後の亀井候補の挨拶では、「私たちの怒りを岸田政権に感じてもらい、一緒に政治を変えていく」と選挙戦の御礼と合わせて、力強い決意表明も行われていました。春闘と同時並行という窮屈な日程にありながら、精力的に取組んで頂いた組合員・ご家族の皆様は、心より感謝申し上げます。今後は、私達国労の

